


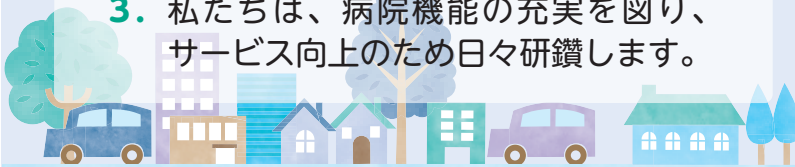
さんま通信

厚生中央病院だより 第79号 



厚生中央病院の理念

1. 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
2. 私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
3. 私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。



目次

- 新年のご挨拶 1~2
- 診療科からの新年の抱負 3~4
- 当院の行事食について 4

新年のご挨拶

病院長 河島 尚志



新年あけましておめでとうございます。皆様と一緒に新しい年を迎えられたことうれしく思います。昨年は、国内では、コロナが収束しつつあっても、医療を取り囲む環境は、コロナ対応の変更、保険改正、働き方改革といった状況に加え、補助金削除など、大きな変化を求められていると感じています。真に必要な医療が追求され、ニーズに合わないものは淘汰されていくようになると同時に、丁寧に迅速な対応が必要と考えさせられた一年でありました。今年も、厚生中央病院は、地域の中核病院及び多機能型の総合病院として役目を果たしていく所存です。昨年も、地域の多くの急性期診療に携わらせていただき、救急車の応需数は過去ないほどの受け入れを行いました。

医療は日進月歩で発展しております。当院としても乗り遅れることなく、病院機能のblush upを行っていくつもりです。本年度は、経営的基盤

の安定化を図るとともに、昨年度からの改革を継続し医科歯科連携の充実、高機能病棟（HCU）設立、乳がん専門診療充実、Patient Flow Managementなどの計画を進めていきます。また、特殊外来（スマートウォッチ不整脈外来、脊椎外来、人工関節外来、めまい外来、乳児のあたまの形外来など）を設立し、患者ニーズにこたえられるような改革を推進します。DX化、遠隔医療、遺伝子診療など、医療の進歩はめざましく、当院としては、変化をおそれずに、患者ファーストの視点にて、今年は特に「働くひとの健康を守る」をモットーに、早期発見に力を入れ、よりよい医療を提供できる病院を目指してまいります。患者様が温もりを感じるような厚生中央病院ならではの高齢者医療、病院機能の充実にて、職員一丸となって活発かつ健全な病院になるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

皆様方の素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。



副院長
秋元 治朗

新年あけましておめでとうございます。本年も厚生中央病院は全国土木健保組合員の皆様、地域住民の皆様の健康増進のために、安全で確実な医療を提供してゆきたいと思っております。患者様に優しい医療を提供できる様、職員一同、接遇はもちろん、医療人としてのコンプライアンスを遵守してゆきたいと考えております。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



看護部長
影山 美子

新年あけましておめでとうございます。昨年、ようやく日常という言葉が戻ってきたという方も多かったのではないのでしょうか。私たちの中にも本当の日常が戻り、看護部に所属する様々な年代の看護師たちと話す機会をたくさん持つことができました。

実際にゆっくり話をしてみると、自分ではついつい常識だと思っていたことは、話す相手側に立つと違ったものに見えたり、合理的な行動が意図していたことの根源は同じであることがわかりました。ここ数年、会話を十分にできない時間が、自分という器を浅く固くしていたのではないかと、はっとしました。

2025年は乙巳（きのとみ）の年です。乙はしなやかに伸びる草木、巳は脱皮する蛇から「再生と変化」を意味するそうです。この年のパワーが私自身、そして看護部全体を後押しして、しなやかに再生を繰り返すことができる人が集まる部署になれることを願ひたいと思ひます。看護のちからは地域の皆様へ直接還元できるものです。今年もどうぞよろしくお願ひします。



副院長
五関 善成

新年あけましておめでとうございます。皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今年は「2025年問題」の当該年です。すなわち日本の少子・高齢化が進み、人口の多い“団塊の世代”が75歳以上の後期高齢者に達し、介護・医療費など社会保障費の急増が懸念される年です。そのような中、政府は社会保障制度改革において、「病院完結型」から「地域完結型」への転換、地域ごとに地域包括ケアシステムの構築、さらに健康増進、疾病予防と早期発見等の促進などを重点項目としています。これはまさに当院が目標とする地域に密着した病院、土健保加入者の疾病予防と健康増進に役立つ病院と一致するものです。今年の干支である蛇は脱皮することから、復活と再生の象徴であり、当院もより良い病院へと脱皮していきたいと思ひます。皆様方と共に土建保および地域に頼られる病院として歩んでまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。



事務部長
磯田 恩

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

当院は、地域中核病院として良質な医療の提供や、患者サービスの向上に取り組むとともに、医療安全の確保、個人情報保護に係る情報管理体制の強化に努め、地域の皆様方から信頼される病院を目指して参ります。

また、全国土木建築国民健康保険組合の直営病院として、加入事業所及び被保険者の皆様方が安心して利用できるよう、人間ドックのWEB予約枠の拡大など利便性の向上を図り被保険者サービスに努めて参ります。

本年も「心の通った温もりを感じる医療を目指します。」という病院理念の実現に向けて、職員が一丸となって取り組んで参りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



診療科からの新年の抱負



総合内科

部長 小野 啓資

新年あけましておめでとうございます。現在COVID-19は往事の勢いはないもののいまだ収束に至らず、加えてマイコプラズマ、手足口病、インフルエンザなどの感染症の流行も無視できません。皆様におかれましては手洗い、うがい、寒暖差への対策など、十分な感染予防をして頂きたいと思っております。当科の主体は救急を含めた一般内科であり、当院の診療内容を料理に例えるとメインディッシュというより“主食”に近いものがありますが、呼吸器内科、血液内科、脳神経内科、そして代謝・内分泌内科という味付けもあり、決して無味乾燥な米飯ではありません。単なる寄り合い所帯ではなく、それぞれのスペシャリティーを融合して患者様へ最適な診療を提供するべく、今年も精進を重ねていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器・乳腺外科

医長 上田 亜衣

新年あけましておめでとうございます。この1年で乳癌治療はますます複雑化・多様化し、大学病院と連携して治療を進めることも増えてきました。今年も一人一人の患者様とご家族に寄り添い、最適な医療を提供できるように努めていきたいと思っております。

産婦人科

部長 樋田 一英

厚生中央病院産婦人科では、無痛分娩の導入や、LDRや病室の新装もあって、分娩数も急増し、好評価も受けています。手術も腹腔鏡手術を中心に、大学病院に劣ることのないレベルで安全な医療を提供できていると自負しております。今後とも、受診いただいた患者様方に満足していただける医療を目指していきたいと思っております。検診などで引っかかった時などは、お気軽に受診ください。

循環器内科

部長 五関 善成

謹んで新年の御慶び申し上げます。昨年は血管造影室が新しくなり新しいシネ装置が順調に稼働しています。今年も地域の医療機関や施設の皆様方と連携して地域全体で1人の患者様を診ていく診療を心がけたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

小児科

医長 森下 那月美

子どもたち一人ひとりの健やかな成長を見守り、親御さんと共に安心できる医療環境を目指しています。日々学びを深め、地域の皆様の健康づくりに努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科

統括部長 根本 夕夏子

消化管、胆膵、肝臓と消化器全般の疾患を診療しています。受診から検査まで迅速に、また受診された患者様が納得して治療を受けられるよう心掛けています。救急疾患も積極的に受け入れていますので、いつでもご紹介ください。

泌尿器科

医長 黄 和吉

尿路結石や前立腺肥大症などの良性疾患を中心に、最新の内視鏡機器で低侵襲な手術を心がけております。去年から前立腺肥大症に対するwave治療も開始され、さらなる治療の選択肢が増えました。今後も患者様ごとに最も適切な治療法と一緒に考え、相談しやすい診療科を目指していきます。

消化器外科

部長 太田 喜洋

当科は周辺地域のニーズに応えるべく、疾患・患者様を選ばずに安心安全な医療を提供しております。特に高齢者を中心とした高リスクの患者様にはより安全に低侵襲の外科治療を行って参ります。また本年より人員増加となり、さらに精力的な診療に努めたいと思っております。

皮膚科

医長 山本 真実

患者様が安心して受診でき疑問に思っていることを気軽に相談できるよう、また、より質の高い医療が提供できるよう、引き続き丁寧な診察を心がけて参りたいと思っております。本年も何卒よろしくお願いいたします。

整形外科

統括部長 中山 隆之

2025年という新たな年をむかえ、われわれは近隣医療機関様からの日頃からのご支援に感謝を申し上げますと同時に、ご紹介をいただく患者様の受け入れがよりスムーズになるように受け入れ体制をさらに強化したいと考えています。また、患者様からの信頼を大切にしつつ、より質の高い医療を提供できるように邁進いたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科

医長 永井 賀子

新年あけましておめでとうございます。今年も地域の皆様の健康と笑顔のお役に立つことができるよう、患者様を快く迎え入れる診療体制を整え耳鼻咽喉科スタッフ一丸となって診療に取り組みたいと思っております。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。

眼科

部長 森 秀樹

新年あけましておめでとうございます。旧年中賜りました数々のご厚情とご支援に眼科スタッフ一同心より御礼申し上げます。新たな年を迎えましたが、これまで以上に地域の皆様に安全で質の高い医療を提供できるように努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科

部長 秋元 治朗

4名の脳神経外科専門医が、24時間365日にわたり、健保組合員の皆様、地域住民の皆様を脳卒中から守るべく、日々奮闘しております。昨年からは脳血管内治療専門医が加わり、より脳卒中診療の層が厚くなりました。脳神経外科というと、怖いイメージを持たれる方が多いかと存じますが、我々は如何にして患者様に優しい医療を提供するかを日々、考えております。患者様、ご家族と一緒に、医師、看護師、セラピスト、薬剤師、栄養士が一つのチームとして、最善の医療を選択することを目指しております。そのためには患者様の生の声をよく聞き、チームの共同意思を患者様と共に決定してゆくことを重視しております。長い人生においては、入院はほんの短い期間かもしれません。我々はその一期一会を大切に、お互いが信頼して病に立ち向かえる様な医療体制作りを心がけております。本年も当院脳神経外科をより一層信頼していただける様、努力してゆきたいと思っております。

精神科

医長 岩尾 紅子

当院での内科や外科の外来通院中や入院中に、不安や不眠を感じる事があれば、どうぞご相談ください。些細なことでも気になる事があれば、気軽にお話しただける環境を心がけています。また、臨床心理士も在籍しており、カウンセリングや心理検査を通じて、より正確な診断と温かい診療を目指しています。

形成外科

医師 小宮 貴子

形成外科の立ち上げから約2年経ちます。地域の中で、近隣の皮膚科や内科、整形外科などの開業医の先生から患者様をご紹介いただく機会が増えてまいりました。傷あとと修正や皮膚腫瘍の摘出では、経過や病理結果をご紹介元届けることを心がけております。医師同士、お互いに連絡を取りあえる環境の中で、患者様が安心できる医療を目指したいと思います。よろしくお願いたします。

麻酔科

部長 長澤 実佳

当院手術室では、年間3,000件の手術件数を目指しています。緊急手術もできる限り早急に対応できるよう日々努力を重ね、麻酔科外来で詳しい説明を行うことにより、安全な麻酔管理、患者様の満足度を高められるような麻酔管理を行います。2022年度より開始した無痛分娩は、2024年度100例を超えました。麻酔科医が管理することにより、産婦人科医、助産師とも協力して安全で満足度の高い出産をお手伝いしていきます。

～当院の行事食について～

栄養科長 石川 剛

日にち	献立名	
4/29	夕食 ポークチャップと春キャベツサラダ	昭和の日
5/3	昼食 お赤飯	憲法記念日
5/4	昼食 グリーンピースご飯	みどりの日
5/6	昼食 竹の子ご飯	子供の日
7/7	昼食 セブチうどん	七夕
7/15	昼食 夏野菜カレー	海の日
7/24	昼食 国産うなぎ蒲焼	土用の丑の日
8/11	昼食 茶そばと富士山ゼリー	山の日
9/16	夕食 栗おこわときなこ黒蜜ムース	敬老の日
9/22	昼食 きのこの炊き込みご飯	敬老の日
10/14	昼食 青じそご飯と抹茶プリン	スポーツの日
10/31	昼食 南瓜デザート	ハロウィン
11/3	夕食 鶏とじめじのご飯と栗ムース	文化の日
11/23	昼食 すき焼き	勤労感謝の日
12/21	夕食 南瓜煮	冬至
12/24	夕食 クリスマスチキン/ケーキ	クリスマスイブ
12/31	夕食 年越し蕎麦	大みそか
1/1～1/3	お正月料理	お正月
1/7	昼食 七草ご飯/粥	七草
2/3	昼食 節分豆菓子	節分
2/11	昼食 炊き込みご飯	建国記念日
2/23	昼食 お赤飯	天皇誕生日
3/3	昼食 散らし寿司/ひな菓子	ひな祭り
3/21	昼食 三色丼	春の日

★都合により献立が変更されることがあります

厚生中央病院

「汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ」古代ギリシアの医師ヒポクラテスの名言です。食事を薬とするならば、美味しい食事であれば食べられません。五感で楽しめる食事であれば、継続も難しいと思われず。当院では、患者様にとって少しでも食事が美味しく楽しい時間になることを考え、行事食を年間24回ほど提供しております。また、和食は2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されてから11年を迎えました。当院栄養科では、和食の素晴らしさを再確認することを目的に全国の郷土料理を提供し、日本の食文化の素晴らしさを入院中に感じてもらえるよう考え患者様に提供しております。

参考文献：ヒポクラテス医学論集 岩波書店



さつまい (鹿兒島県)



せんべい汁 (青森県)

画像提供元：農林水産省ホームページ



救急指定病院

厚生中央病院 **さんま通信**

No.79 2025

発行元：総合病院 厚生中央病院 経営企画広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-4963
URL <https://www.kohseichuo.jp>

*** 看護師等、随時募集しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。***